

事業方針	事業の推進	・幼児教育・保育の無償化にともない満3歳児入園の時期が早まり、当初よりクラス編成を行うこととし園則変更を行う。新型コロナの予防対策のため、参観会における講座が実施できず、情報発信も衛生管理センターになる。また教員研修も減ったため今後研修計画を見直す必要がある。	
	R1の決算より	・年少の男児小便器の老朽化により衛生面が懸念されたため付け替える。満3歳児の増加により低年齢児に使いやすい遊具を導入する。	
	具体項目	内 容	
1	教育計画	満3歳児教育の充実 小学校との接続	満3歳児教育の充実を図る。無償化により満3歳児入園の希望者が増えた。新型コロナの感染予防のために未就園児教室等入園前の活動が減ったので親子のかかわりについて課題がある家庭には、より丁寧に対応をするよう心掛けた。 非認知能力を育てる幼児期の教育の特徴について様々な機会をとらえて保護者に伝える。クラスだより等で活動の様子について写真などを使い「ねらい」をわかりやすく伝える。
2	研究計画	指導方法のスキルアップ 教員同士の意見交換により行事を決める	指導方法について実践的な研修が減ったが各学年担当における員同士の意見交換の機会を増やすことができた。 経験年数の少ない教員がアイデアを出せるような環境づくりが必要。
3	地域連携計画	地域の自然を学ぶ	自然を意図的に保育に取り入れることは個々の教師において習慣づけられているが「地域の」という冠がついた場合に自信をもって答えられる教師は少ない。今後ビオトープの活用により子どもとともに学びを深めたい。SDGsの考え方も取り入れていく。
4	施設設備計画	園庭整備 低年齢児の遊具の設置 天井、壁紙、トイレの修繕	ビオトープの整備が終了し子どものビオトープとのかかわりが増した。 満3歳児を視野に入れ、低年齢児が使いやすい遊具を導入した。 天井、壁紙を修繕した。年少児トイレを整備すした。
5	管理運営計画	教員の資質向上 職員の役割分担の再編成	新型コロナにより、とくに新任、2年目の教員の研修機会が減ったため次年度の研修計画に反映したい。 特に計画性とチームワークについて、意見交換が活発化したが目的に向けて自ら保育の在り方を考える意識が必要。
6	財務計画	施設の多機能化を視野に入れて、シミュレーションを多くとり今後の判断に生かす	無償化により市内の幼稚園は新制度園へ移る動きが加速している。今後もより安定した園運営のために他園の状況を伺いつつ判断をしていきたい。